

【添付資料】出演者プロフィール

GACKT



バンド活動を経て、99年にソロ活動を開始。これまでに、CDシングル48枚とアルバム19枚をリリース。

男性ソロアーティスト シングルTOP10獲得数は歴代1位を保持している。アクション（日本刀、テコンドー、空手、アクロバット等）を得意とし、Drive、スノーボード、乗馬、ポーカー、釣りなど多趣味なことでも知られる。音楽以外にも、俳優としてハリウッド映画、日本映画、TVドラマで活躍。声優では、映画、アニメ、ゲームにも多数出演。

「人の背中を押す事」こそ自分の使命と考え、18年間続

いている卒業式でのサプライズライブや、慈善活動にも貢献。

GACKTと二階堂ふみによるW主演の映画「翔んで埼玉」（2019年2月22日公開）は累計動員290万人、興行収入37億円を突破し空前の大ヒットとなり、第43回日本アカデミー賞にてGACKTが優秀主演男優賞を受賞し、映画としても最多12部門で優秀賞に輝いた。

元旦には恒例の芸能人格付チェックに出演。正月No.1の視聴率を獲得し、個人では81連勝と記録を更新。出演したTV番組は軒並み最高視聴率を叩き出し、日本の芸能界の中でも圧倒的に力のあるインフルエンサーとして知られる。2021年9月、活動を休止する事を発表。2022年5月、復帰に向けて再始動する事を発表。

2024年3月、ツアー「GACKT LAST SONGS 2024 feat. K」を東京、仙台、大阪、愛知、福岡で開催。シンガーソングライターのKが全編ピアノとボーカルで参加し、そこにストリングスを加えた編成で、GACKTのキャリアの中からファン人気も高いバラード&ミディアムの曲だけで構成されるスペシャルなステージ。2025年4月13日、「GACKT PHILHARMONIC 2025 - 魔王シンフォニー」ロックとオーケストラの融合世界を初開催。すみだトリフォニーホールにて。

調査会社が実施したWEB調査では10代～60代の認知度が97%。SNSの登録者数もLINE約171万人、Instagram約115万人、X(Twitter)約127万人、YouTube約78万人、TikTok約91万人と日々増え続けている。（2025年11月現在）

自らを“表現者”と称し、ミュージシャンという枠にとらわれない多才ぶりを發揮する個性派アーティスト。ヨーロッパ、アジア全域、アメリカに多くのファンを保有し世界中で活動を続けている。

GACKT公式サイト

<https://GACKT.com/>

GACKT ONLINE G&L MEMBERS CLUB

<https://gackt-online.bitfan.id/>

米田覚士（指揮）



東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。

平成30年度安宅賞 受賞。

指揮法を小田野宏之、高関健、ピアノを長瀬賢弘の各氏に師事。2017年6月に東京音楽大学特別講座指揮公開マスタークラスのオーディションに選出され、パーヴォ・ヤルヴィ氏のレッスンを受講。同年8月に熊本県立劇場にて山田和樹氏による公開講座を受講。2021年10月、第19回東京国際音楽コンクール<指揮>に入選。2025年9月第59回ブザンソン国際指揮者コンクールにて第1位。これまでに札響、群響、仙台フィル、新日本フィル、都響、読響、愛知室内オーケストラ、静響、大阪響、岡山フィル、東京混声合唱団などを指揮。

©Herbie Yamaguchi

村上史昂（指揮）



関西学院大学総合政策学部を経て、東京藝術大学音楽学部指揮科を卒業。卒業時に同声会賞を受賞。2023年10月より2年間、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員を務め、同楽団定期演奏会にアシスタントとして携わった。またピアノでは藝大在学中より声楽・器楽の伴奏に積極的に取り組み、2024年にはヴァイオリニスト五嶋みどりと共に演じた。2024年9月セントラル愛知交響楽団を指揮してデビュー。これまでにセントラル愛知交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、千葉交響楽団、グランドフィルハーモニック東京と共に演じた。指揮を角田鋼亮、高井優希、三河正典、山下一史、高関健の各氏に師事。

グランドフィルハーモニック



2018年設立。国内外で活躍する現役トップレベルの演奏家や新進気鋭の若手が集結し活動開始。シンフォニー音楽劇『蜜蜂と遠雷～ひかりを聴け～』、東京ゲームショウ25周年記念シンフォニックオンラインコンサート、ゲームセンターCX シンフォニー等にて特設オーケストラを、SQUARE ENIX『Triangle Strategy』、Netflix『リラックマとカオルさん』、TBS 日曜劇場『VIVANT』等の録音を担当。大貫妙子、GACKT、清春、小林幸子、坂本龍一、杉山清貴、谷村新司各氏と共に演じ、日本を代表するアーティストのオーケストラ企画を担うなど、クラシックのみならず、ジャンルの枠を越えた多様な活動を展開。他に類を見ない次世代型オーケストラとして多方面より期待されている。

2025年開催『GACKT PHILHARMONIC』に続き、本公演『GACKT 魔王シンフォニー 2026 - INFINITY-』では3度目の共演となる。